生物 ありがとう

田植え 5/14

五月十日 田植えをしました。
場所は、斎宮駅裏の田んぼ。
神宮支庁からゆずり受けるところ、どろだらけになった古代米のたねの黒米と赤米を育てているのです。
田んぼのお世話は、斎宮跡保存協会のおじさんおばさん達です。
僕は三回目だけど、チアーズは、毎年お手伝いをしています。
田植え前は、足が汚れるなど気が進まなかったけど泥の感触が思ったより気持ち良く、すぐになれました。
最初は慎重だったけどなれてくると、どういうわけか、歩きにくくコケそうになった。

2016/05/14 10:35

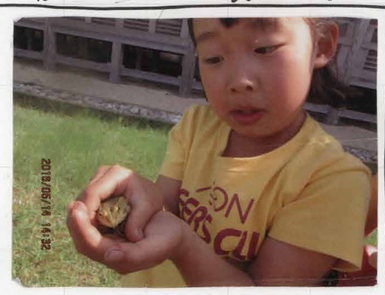
田植えになった。
おわってから手足を洗い古代米のごはんをいただきました。
白いごはんより、モチモチプチプチで赤飯みたいでした。

稲刈り 9/11

九月十一日に稲刈りをしました場所はいつもの所です。
私たちが田んぼに近づくと、たくさんの虫が飛んでいきました。バッタが多かったので、小さい子たちは稲かりの前にバッタを追いかけていました。それを見て「あ～あ、しょうがないなぁ」と思いながら稲かりを始めました。ところがすぐにこしがいたくなり、困りましたが他のメンバーは、「ワクワクした」とか、「楽しかった」とか、言っていました。
毎年田うえや稲かりをさせてもらってますが、やっぱり、最初は、上手くできるか心配になります。ですが、先生がとても上手に教えてくださったので、思っていたより、上手にできました。私たちの学校では三年生と、五年生が学校行事として田うえと稲かりをします。稲かりは地もとの人たちが虫をこわがる私たちのために虫を追いだしてくれていましたが、今日チアーズが参加した稲かりは、たくさんの虫がいました。そのおかげで、生き物について分かる事が出来たので良かったです。

斎宮のたてものと

田んぼはいきものの ゆりかご



すくすく育っている所や虫のようすがよくわかります。

緑の近くなので何度も見にくると

斎宮跡保存会のおじさん、おばあさん達が育ててくれていた古代米は、黒米は短かいけれど、赤米はすごく伸びていました。
おばあさん先生が品赤米は、背の高い品種だから台風でこけやすいんやよ。と教えてくれました。
私は、台風に負けるなー！と応援をしたくなりました。

黒米　赤米

見っけ

大さわぎ中

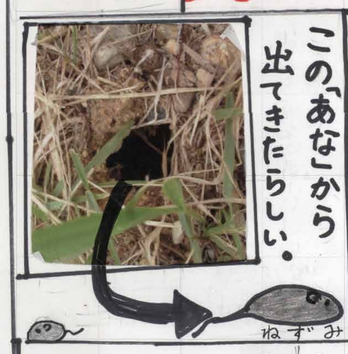
田うえの横の池や水たまりではたくさんの虫やかえるのたまごが見つかりましたが男の子がたまごをぐちゃぐちゃにしていました。それを見てカエルにお父さんになる心配しました。

春のたんぼには

土手では
アリ
ミミズ
緑色のバッタ
茶色のバッタ
もぐらの穴
クモ（黒と白のしまもよう）

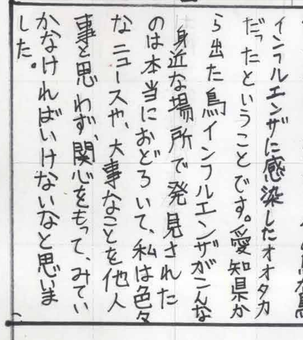
田んぼでは
土蜘
おたまじゃくしの卵
ヒル
ゲンゴロウの子ども
クモ（菊月子守グモ）
アメンボ
ユスリカ幼虫
シオカラトンボ
アメンボ

秋の田んぼには



この「あな」から出てきたらしい。

夏あかね（オス）
ショウリョウバッタ（緑と茶）
オニブバッタ
とのさまがえる
かまきり・いなご
クモ（黒と白）
クモ（菊日子守グモ）
土がえる
キリギリス



生物多様性について、

生態系について学びました。
例えば、もし土の中からミミズやダンゴムシが田んぼからいなくなると、土が肥えなくなり、米や麦が育たなくなります。
すると、牛や豚などの家畜にも影響が出ます。そうなると、子豚や子牛はもちろん成牛の肉もスカスカになり、市場やスーパーにも出回らなくなり、人間にも大きな影響が出ます。
それに、麦や米が育たなくなるともう一つ大きな影響が出ます。それは米や麦がなくなり、炭水化物不足で体のバランスをたもてなくなってしまうということです。
生物多様性のバランスがくずれると私たちにも大きな影響が出ます。だから、みんなが保護的な視点をもち、そのための行動をとることが大切だと思います。

4/24 生き物のタワーをつくりました

四月二四日の活動でパワーポイント学習の後、みんなでカを合わせて、こんなものを作りました。
土台にはダンボールの箱まん中はダンボールの筒まわりは麻ひも。
たてにも横にも麻ひもをいっぱいむすんで大きなタワー。
そこへパワーポイント学習で出てきた生き物を上から下へと考えて付けていきました。
小さい子が『これでこー？』ときいてきます。

大きすぎるミジンコ
ダンゴ虫タニシも
あるけど
気にしないで書きました。

それぞれが関係しあう大事な仲間

自然観察のコツ

★視点は低く
★追わずに待つ
★同じ場所へ何度も
★必ず長袖

そうは言っても田植の時みたいに、出てきたはずみらしきものをみんなで大さわぎで追っかけてしまいました。
同じ地球の同じ生き物の仲間なので大切にしていかないといけないと思います

明和町の鳥インフルエンザ事件

養鶏場に消石灰配布
松阪市 鳥インフル対策で

明和町で野鳥のオオタカの死骸から鳥インフルエンザの簡易検査で、松阪市は十六日、陽性反応が出た問題で、松阪市は十六日、市内の養鶏場八カ所に消毒用の消石灰十二トンを配布した。もう二カ所には二十日に配り、二十六日までに計十七トンの散布を要請した。
受取先のJA松阪東部物流センター（同市嬉野町）では、市ら

この記事のオオタカの死骸があった場所が、偶然にもチアーズの人の家の裏で、いくつかの取材陣が来ておりまわりではちょっとした話題になっていました。二日ほど前から鳥がおり、また動かない状態で確認されており、その鳥が鳥インフルエンザに感染したオオタカだったということです。愛知県から出た鳥インフルエンザがこんなに身近な場所で発見されたのは本当におどろいて、私は色々なニュースや、大事なことを他人事と思わず、関心をもって、みていかなければいけないなと思いました。

2016年度の活動

4/3 開始式
4/24 合同パワーポイントで学習とタワー作り
5/8 クリーニアップ大作戦 大淀海岸大そうじ
5/14 田植えと虫たち
6/19 牛舎訪問と牧取り装置作り
7/23 三重県エコフェア 参加
8/3 チアーズ全国大会 北海道
8/28 動物うちわ作りと募金活動
9/11 古代米の稲刈り
10/2 生き物中間振り返り
11/27 明和店畜産のお話
～12/18 松阪牛まつりとゴミボランティア
壁新聞作り開始

こどもエコクラブ壁新聞（平成　年度）
（全国事務局使用欄：記入しないでください）

クラブ所在地 三重 都道府県 明和 市区町村

クラブ名
明和
イオンチアーズクラブ